

日本ブックデザイン賞 2015 受賞者コメント



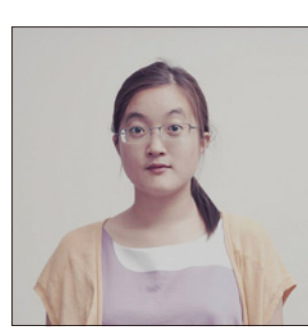
大町 駿介

グランプリ
一般部門 カテゴリーC (ブックデザイン・私家版) 金の本賞
『宮内・摂田屋百景』

『宮内・摂田屋百景』は、長岡市の宮内・摂田屋地区にのこる魅力的な建物を主題とした私家版の本です。この2つの街は長岡市街の南、三国街道沿いに広がっており、たずね歩いたところ古い町家や土蔵がいくつか残っています。風雪に耐えた姿が美しく感じられ、調べてゆくと中越地方独特のスタイルを持っていることもわかりました。この本にはその町家や土蔵の姿を描いたイラストレーションと、調べてわかったことを収録しています。



日本ブックデザイン賞 2015 受賞者コメント



チラユ・ボンワレット

一般部門 カテゴリーA (四六判) 銅の本賞
『ハムレット』

シェイクスピアの『ハムレット』の四大独白の中の第三幕第一場の、To be, or not to be「生きるべきか死ぬべきか、それが問題だ」で始まるこの独白は、この世の矛盾と向き合い、そこに纏れ合う糸を解きほぐすことができずに、堂々巡りをします。デザインの意図は、小説の世界観を生かすために、実際の本文体裁を採用。また、本文を部分的に隠すことで“To be, or not to be, — that is the question.”を作品の主題として伝えてます。敢えてパンクチュエーションを残し紙面にリズムを出しました。



日本ブックデザイン賞 2015 受賞者コメント



にしぎかひろみ

学生部門 カテゴリーB (文庫判) APM賞(特別賞)
『不思議の国のアリス』

不思議の国のアリスは、チェシャ猫の個性的なキャラクターのイメージが強く、デザインのシンボルとして扱うことが大切だと考えました。そして、カラフルに表現するのではなくモノクロの強さによって表すことが、このコンテンツをいっそう豊かにすることになると思いました。また、巧みな心理的イリュージョンがあり奥深いルイス・キャロルのストーリーのひとつにあってはめようと思ったのです。チェシャ猫の口元は、不気味な笑いととも英語のタイトル文字が現れ出るようにデザインし、その強さとともに猫の持っている柔らかい動きを裏表紙、さらに袖の部分にまで展開しました。広げてみたい誘惑に駆られるでしょう。どうぞ、不思議な国に遊んだジャケットをご覧ください。



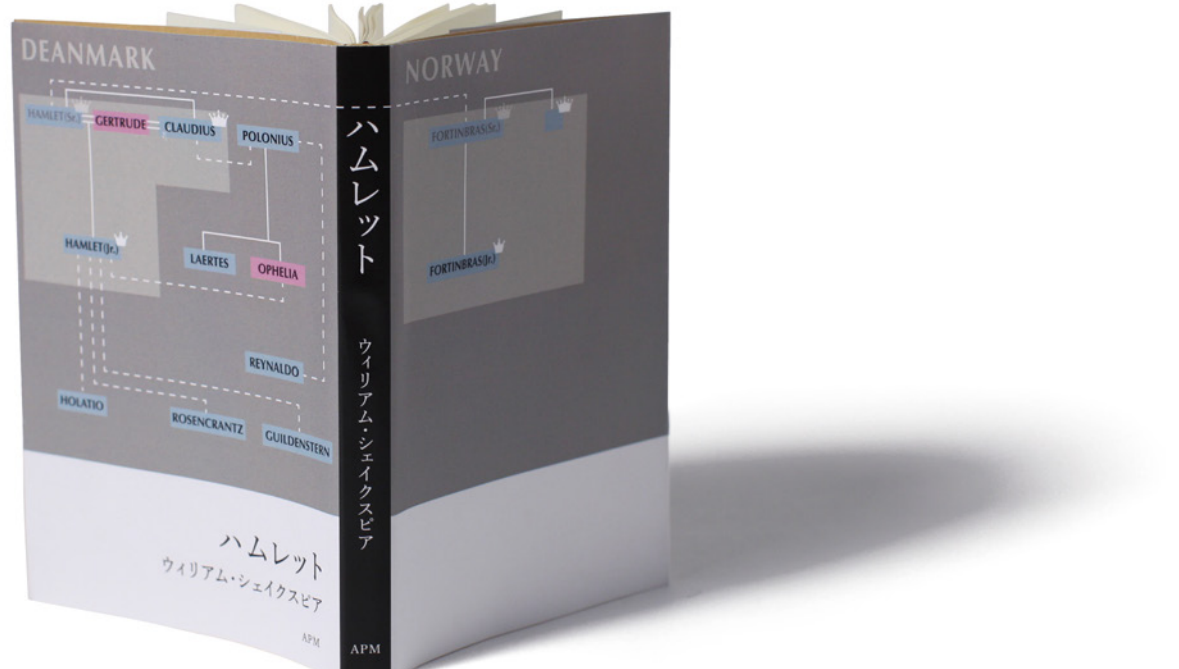
日本ブックデザイン賞 2015 受賞者コメント



藤田 由美 (千葉大学)

学生部門 カテゴリーB (文庫判) 金の本賞
『ハムレット』

とても素敵な賞をいただき、誠にありがとうございました。この作品は、文庫であれば比較的気軽に手に取れるだろうと考え、「ハムレットがどのような話かは分からないが何かしらシェイクスピアの作品を読んでみたい人」というターゲットを想定して作成しました。ブックジャケット全体に人物相関図を描くことで内容を少し覗けるように、そして物語の特徴である複雑な人間関係を表現しようと試みました。ハムレットとフォーティンプラスが対になるように配置したのもポイントです。



日本ブックデザイン賞 2015 受賞者コメント



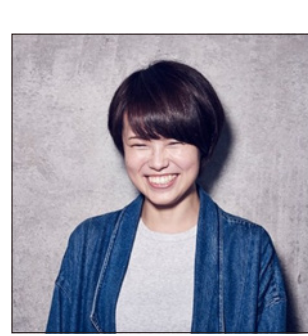
齊藤 輝美 (多摩美術大学)

学生部門 カテゴリーB (文庫判) 銀の本賞
『注文の多い料理店』

物語の鍵となる兵士・塩の壺・謎の生き物をメインビジュアルに3種類のブックカバーを制作しました。子供から大人まで幅広い層に愛される著者、宮沢賢治。こちらの作品では、兵士たちの劇中での表情や動きをコミカルに描き、著者及び物語への親しみやすさを表現しました。小学生の頃に同じく「宮沢賢治作 セロ弾きのゴーシュ」のお話を聞き、思い浮かんだ情景を描くという授業があり、作品が町の小さな作品展に選出された思い出が蘇りました。時を経て、再び彼が幸運を運んで来て下さったようです。審査員の方々に感謝の意を表します。ありがとうございました。



日本ブックデザイン賞 2015 受賞者コメント



松村彩音 (多摩美術大学)

学生部門 カテゴリーB (文庫判) 北越紀州製紙会社賞(特別賞)
『注文の多い料理店』

この度は栄誉な賞を頂き、誠にありがとうございます。小学生の頃に読んで以来大好きになった作品の装画で、このような評価を頂けたことを、大変嬉しく思います。今回の受賞を励みに、今後も精進していきたいと思えます。



日本ブックデザイン賞 2015 受賞者コメント



柏 大輔 (多摩美術大学大学院)

学生部門 カテゴリーC (ブックデザイン・私家版) 金の本賞
『Daisuke Kashiwa illustration sources 1,000 Vol.3』

私は新しいイメージの可能性を求めて膨大な試作ドローイング/ペインティングを描き溜めています。受賞対象となった作品は、それを1,000点毎にまとめた作品集シリーズの三冊目です。特に本作が選ばれた理由は、掲載されたイメージ群に色彩豊かなものが多数あったことに拠ると考えています。それによって小口に様々な色彩が表れ、真っ白な装丁との対比が他の二冊に比べて強まり、結果的に作品集全体のデザインがより必然性が高いものとして審査員の先生方の目に映ったのではないかと…そのように想像しています。今後もブックデザインを始めとし、自作をプロモートするための効果的な展開を模索していきたいと思えます。この度はありがとうございました。

